



第30回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

恐怖記憶の調節回路と ドーパミンによる制御機構

演者: 植松 朗先生

産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 主任研究員
東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授

日時: 2025年11月10日(月) 16:20-17:20
場所: 野田キャンパス 講義棟 K402 教室

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。

動物は恐怖体験を通じて危険を予測・回避し、生存率を高めます。しかし恐怖刺激が繰り返し提示されても実際の危害が伴わない場合、記憶は抑制されます。我々は齧歯類モデルを用いて、恐怖記憶の抑制に関与する神経回路基盤を解明を目指しています。これまでに、ドーパミンが恐怖記憶の抑制に重要な役割を果たすことを示してきましたが、ドーパミンの受け手の役割については十分に理解されていません。本セミナーでは、ドーパミン受容体サブタイプにより分類される細胞集団ごとに恐怖記憶の抑制過程における役割を解析した成果を紹介します。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し、2016年度に脳学際研究部門（BIRD）が発足されました。2021年からはパラレル脳部門として新たに再編し、脳神経研究のより一層の発展を目指して、学内の工・先進工・創域理工・薬学部・生命研および学外の研究機関との共同研究を推進しています。

本講演は公開セミナーです。他大学からの参加の場合は世話人までご一報ください。

ZoomミーティングID: 後日メールでお知らせします。

世話人: 創域理工学部生命生物科学科 萩原 明 ahagiwar@rs.tus.ac.jp

